

# 自然科学部生物班

## 部活動紹介

岐阜県内に生息する身近な生物を主な研究対象として、一人一人がテーマを持ち、実際にフィールドに出て自分の眼で観察し、調査、研究、実験に励んでいる。また、調査・研究対象の生物の生息環境についても目を向け、生息地の保全についての提言まとめたり、希少生物の保護活動にも取り組んでいる。

平成18年度からは、地域の方々、行政（岐阜県・岐阜市・揖斐川町）、研究機関や研究者の方々（岐阜県淡水魚園水族館アクアトトぎふ、岐阜大学、京都大学、日本爬虫両棲類学会の皆さん）など多くの方々と連携し、ご指導やご助言をいただきながら、カスミサンショウウオ（岐阜市貴重野生動植物指定種・岐阜県レッドデータブック絶滅危惧Ⅰ類・環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類）の保護活動をメインの活動として展開し、地域の自然や環境を研究対象に積極的な活動を続けている。

## 活動実績・試合結果(2010.4月～2011.3月)

- ・(社)日本動物学会中部支部公開シンポジウム 高校生発表奨励賞
- ・第3回全国生物学コンテスト生物チャレンジ 2010 第二次試験 (国際生物学オリンピック代表選考第二次試験) 銅メダル (2年連続)
- ・平成22年度岐阜結構等学校総合文化祭第19回自然科学系部活動研究発表・交流会 最優秀賞 (賞状)



- 「守れ！ふるさとのカスミサンショウウオ～保護活動と遺伝的多様性の解析～」のタイトルで、研究発表を行い、最優秀賞（全発表数29の中1位）に選ばれ、平成23年度全国高等学校総合文化祭ふくしま大会自然科学部門の参加校として推薦されることが内定しました。
- ・A I Tサイエンス大賞（自然科学部門） 奨励賞
  - ・平成22年度「岐阜県ふるさと教育表彰」 推進賞受賞

## 部長の言葉

生物班では、4年前からカスミサンショウウオの保護活動に取り組んでいます。以前放流した個体が繁殖に参加しつつあり、今年は例年以上の卵嚢を保護しました。新入部員と共に生き物の世話に日々奔走しています。

## 部員数(平成23年度)

	男子	女子
1年	5人	3人
2年	3人	1人
3年	3人	2人

